

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2002・7・15 No. 129 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



HATURATU はつらつ

サマーキャンプは、ときめきと興奮の毎日! シリアの地方都市スウェダの学校にかよう私たちは、街から8キロ離れた森の中で1,000人のお友だちと一週間の共同生活。日中はからだをきたえるトレーニングが中心だけど、パンとトマト、ヨーグルト、紅茶の夕食後は広場にせいぞろい。グループごとにダンスを踊ったり、寸劇、合唱などをきそいあうんですよ。すみきった夜空には満天の星がきらめき、コロロガたちもバックコーラスで参加してくれます。
(写真・文 平早 勉)

10回目をむかえた「キンダー・フィルム・フェスティバル」 8月2~10日 (こどもの城)



審査結果を発表する子ども審査員

子どものための国際映画祭「キンダー・フィルム・フェスティバル」が、(こどもの城)を会場に行われるようになって、今回が10回目。スタジオB、青山円形劇場を会場に8月2~10日に開かれます。イギリス、フランス、デンマーク、オーストラリア、日本などの作品の上映のほか、声優体験やアニメ制作のワークショップなどが行われます。ベルリン国際映画祭の1部門である「キンダー・フィルムフェスト・ベルリン」と提携して開かれているもので、毎年世界各地から集めた子ども向けの映画(ドラマ、アニメーション)を上映し、子ども審査員が審査にあたっています。

大きなスクリーンで、気持ちを集中させてみる

私たちの身の回りにはたくさんの「動いてみえる映像」があります。テレビ、ビデオ、ビデオゲーム、そして映画館の大きなスクリーンで見る映画などです。

映像をとおして、居ながらにして世界中のできごとを見る(知る)ことができます。自然や街のようす、そこで暮らしている人々のようす、もの見方や考え方—画面の動きに音が加わって、その場と同じ空気を感じ取ることができます。

暗い部屋のなかで、大きなスクリーンに映し出される映画。居間で見るテレビと違って、気持ちを集中させて見ることができます。人やものの動き、わずかな表情の変化、背景にある景色、言葉のニュアンス、そこに聞こえてくる音、背景に流される音楽—目と耳をとおして、たくさんのことを受け取ることができます。それらが組み合わせられて、私たちの心に「なにか」を伝えてきます。

人それぞれに、いろいろな「感じ方」がある

同じ映画を見ても、感動してすぐなみだを流す人もいれば、そうでない人もいます。「なにか」を感じる場面や内容も、人それぞれです。みんなで見てみると、いろいろな感じ方があるのがわかります。自分とは違う見方や感じ方があるのを知って、映画の楽しみ方のはばを広げることもできます。

映画は、文字を使った小説、詩、短歌、エッセイなどと同じで、「表現」の一つです。暗くした部屋のなかで大きなスクリーンで映画を見るのは、静かなところでじっくりと本を読むことに似ているかもしれません。自分のほうから、できるだけ多くのことを読み取ろうとして映画を見ると、気づかなかった映画のおもしろさを発見できると思います。

「キンダー・フィルム・フェスティバル」に集まってくる、世界の子ども向けの映画を楽しんでください。

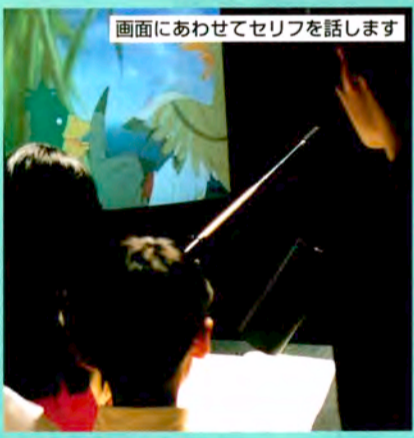
「声優体験」「アニメ制作」のワークショップも

「みる」だけでなく、さまざまな映像体験をしてみよう、アニメーション作品の声を吹き替える「声優体験ワークショップ」(8月3~6日)や外国からゲストを招いてアニメーション作りの秘密にせまる「アニメ制作ワークショップ」(8月7・8日)も行います。

アニメーションや外国映画の日本語版上映では、声優が日本語のセリフやナレーションをいれて上映しています。その「声優の仕事」を小学校高学年以上の子どもたちに体験してもらうワークショップ。5分程度の短いアニメーション作品の吹き替えをします。

日本語の台本を見ながら、何回も作品を見直します。どんな気持ちでセリフを言えいいのか、どのタイミングで声を出せばいいのか—「役作り」をしていきます。1~2時間の練習のあと、みんなの前で発表(上映)します。

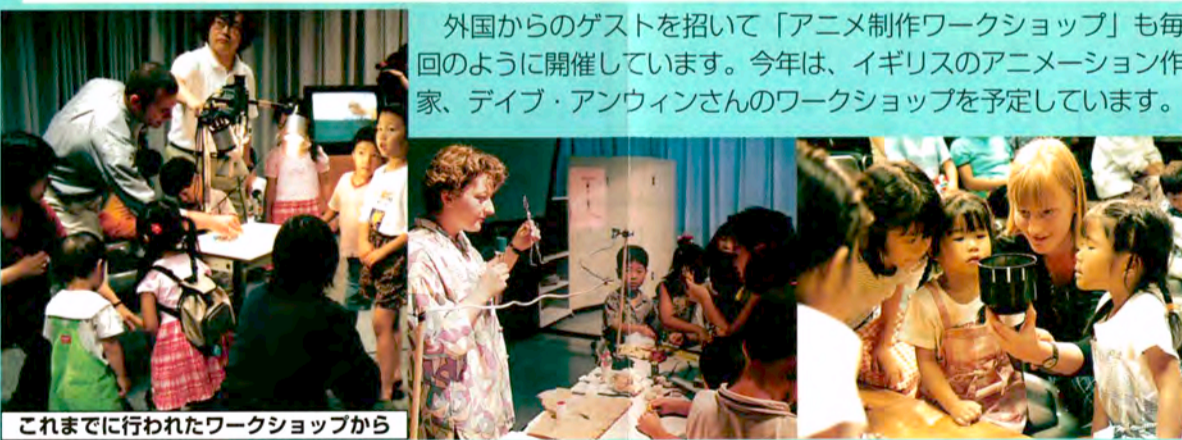
「声優体験ワークショップ」参加希望の人は、キンダー・フィルム・フェスティバル実行委員会事務局【☎03-3327-8670】へお問い合わせください。



画面にあわせてセリフを話します



画面をみながら、セリフの練習



これまでに開催されたワークショップから

外国からのゲストを招いて「アニメ制作ワークショップ」も毎回のよう開催しています。今年は、イギリスのアニメーション作家、デイブ・アンウィンさんのワークショップを予定しています。

世界中から大集合。見るだけでなく、ワークショップもいっぱい 映画つて、おもしろい

コンペティション参加作品(予定)

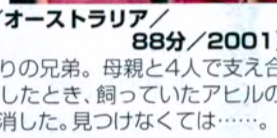
SEND MORE CANDY
(監督=Cæcilia Holbek Trier/デンマーク/76分/2001)

さびれた農園で、親せきの、ふうがわりな老夫婦のもとで夏休みを過ごすことになった9歳と11歳の姉妹の話。



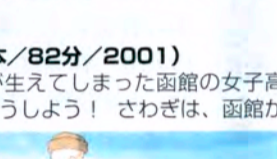
HILDEGARD
(監督=Di Drew/オーストラリア/88分/2001)

父親を亡くしたばかりの兄弟。母親と4人で支え合って生きていこうとしたとき、飼っていたアヒルのヒルデガートが姿を消した。見つけなくては……。



パコダテ人
(監督=前田哲/日本/82分/2001)

ある日突然しほが生えてしまった函館の女子高生・日野ひかる。どうしよう! さわぎは、函館から日本へと広がってしまふ。



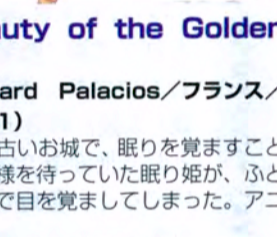
WAR GAME
(監督=Dave Unwin/イギリス/29分/2001)

第一次世界大戦のさなか、クリスマスの日に、ふとしたことから戦っているイギリス兵とドイツ兵の間でサッカーの試合が始まった。アニメーション。



The Beauty of the Golden Wood
(監督=Bernard Palacios/フランス/13分/2001)

忘れ去られた古いお城で、眠りを覚ますことができる王子様を待っていた眠り姫が、ふとしたきっかけで目を覚ましてしまった。アニメーション。



※このほかにも、たくさんの短編アニメーションなどを上映します。詳しいことは、キンダー・フィルム・フェスティバル実行委員会事務局【☎03-3327-8670】、(こどもの城)AV事業部【☎03-3797-5664】へお問い合わせください。

元気印のあそび
はじける夏休み

2002夏休み特別期間
7月20日(土)~9月1日(日)

期間中は毎日開館します
9月2~5日まで休館させていただきます

開館時間 10:00~5:30(入館は5:00まで)
入館料 大人240円(小学生以下180円) 幼児100円
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
☎03-3797-5666 ☎03-3797-5676
http://www.kodomo-no-siro.jp/

こどもの城

スキムマン
Vol.4
スキムミルクのカルシウム

スキムマンといったら、なんでぼくたち元気になるの?

たとえば、みんなの骨や歯をじょうぶにするカルシウム。牛乳の約1.4倍もあるんだよ。

スキムミルクをいっぱい飲めば、すぐにじょうぶになるの?

毎日つづけて、飲まなきゃだめだよ。

さっそく今日から、じょうぶになるうっど♡ やめて〜♡ ぐすくた〜!

骨や歯を丈夫にするカルシウム。

「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB2」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
※児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキムミルク(22g、牛乳1本分相当)と牛乳(200g、1本)の成分比較	8.1g	286mg	0.62mg
たんぱく質	5.8g	6.4g	200mg
カルシウム	0.2g	286mg	0.3mg
ビタミンB2	0.02mg	0.02mg	0.02mg

TEL03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216

スキムミルクを使った新しいレシピ集「おおきくなあれ」カラーB5版、128ページ、定価1,100円(外税、送料別)ができました。お問い合わせ・ご購入ご希望の方は、財団法人日本児童福祉協会(TEL03-3353-2266)まで。

【こどもの城】の2002夏休み特別期間 7月20日～9月1日(期間中毎日開催)

元気印の あそび はじける 夏休み

【こどもの城】は、7月20日から9月1日までが夏休み特別期間。期間中は毎日午前10時から午後5時30分まで開館。9月2～5日は休館します。小さい子向けのものから高学年向けのものまで、遊びの種類も遊び方、楽しみ方もいろいろ。いくつかのプログラムを紹介すると――。

汗はすばらしい友だち～世界スポーツめぐり～(8月17・18日を除く期間中毎日)、ペーパープレーンファクトリー(期間中毎日)、造形発見展「建築と造形」(期間中毎日)、世界の楽器に

チャレンジしよう!～面白楽器商店街～(7月28日～9月1日)、第8回人形劇カーニバル「アツとビックリ!人形劇」(8月16～19日)、不思議な映像実験室「絵がうごいてみるおもちゃの展示とワークショップ」(8月16日～9月1日)、つくって遊ぼう親子工房～トンプをツッカマえて～(8月16～19日)、ギャラリー企画展「○・△・□形であそぼう」(期間中毎日)、ウオーターアドベンチャー2002～西部の決闘～(8月14～18日)など。

造形、映像・科学、手作り楽器などのワークショップ(事前申し込み・定員制・受講料が必要)もあります。総合案内係【☎03-3797-5666】へお問い合わせください。

「夏のフリーパス(入館券)」発売中
夏休み特別期間中、何回でも使える「夏のフリーパス」を発売しています。大人用の「わくわくパス」が1,800円、子ども用の「ドキドキパス」が1,500円です。詳しくは総合案内係【☎03-3797-5666】へお問い合わせください。

大型児童館のボランティアが交流

こどもの城と なかまたち

愛媛と富山で「じょいんフェスティバル」

【こどもの城】では現在18歳以上の学生から子育てを終えた年代の女性まで、幅広い年齢層の人がボランティアとして登録して、「遊びのボランティア」として活動しています。その数およそ400人。

平日の保育やプレイホールで行われる紙芝居や人形劇の活動に定期的に参加したり、夏休みに屋上を使って行われる「ウオーターアドベンチャー」などの大がかりな

催しに企画の段階から参画したり、夏・冬・春の学校休みの期間に行われる野外活動に積極的に参加したり、さまざまな場面でさまざまな形で遊びのボランティアが活動しています。【こどもの城】のような児童厚生施設では、遊びのボランティアはなくてはならない存在となっています。

【こどもの城】と同様大型児童館でも、さまざまな活動がボランティアの協力を得て行われています。ほとんどの場合は、それぞれ

の施設単位の活動となっていて、相互の交流や情報交換を行う機会はほとんどありませんでした。

こうしたボランティアの交流の機会を設け、活動の充実を図ろうと、社会福祉・医療事業団の助成を受け、ボランティアの交流の場「じょいんフェスティバル」を平成13年11月に実施しました。全国14の大型児童館で活動するボランティアが参加し、それぞれが協力して遊びのプログラムを展開したり、勉強会などを行いました。

今年は、さらに遊びのボランティアの交流を深め、情報交換の輪を広げるために、第2回「じょいんフェスティバル」を全国2か所で開催することにしました。

11月2～4日には愛媛県松山市にある「えひめこどもの城」で、平成15年3月15・16日には富山県の「富山県こどもみらい館」で実施します。愛媛大会では、さまざまな大型児童館で活動しているボランティアが協力して1つのプログラムを作り上げるアクティブな交流を、富山大会は日ごろの活動の成果を発表するなど情報交換を中心に、ボランティアの交流を深めたいと考えています。

日本の音楽シリーズ 日本のお太鼓 林英哲・大倉正之助・木津茂理 ワークショップ&デモンストレーションライブ

演奏者と一体となって「音」を感じ、「音」を楽しむ

日本の太鼓の魅力をもさまざまな形で紹介

小学生～一般や音楽を指導している人を対象に、公演前にワークショップ

祭りや盆踊りの季節になると、どこからともなく聞こえてくる太鼓の音。私たちの生活に溶け込んでいる「日本の音」の一つです。夏休みの【こどもの城】では世界的に活躍している日本の太鼓の演奏家が集い、日本の音楽シリーズ(1)「日本の太鼓 林英哲・大倉正之助・木津茂理 ワークショップ & デモンストレーションライブ」を青山円形劇場ほかで行います。

「ワークショップ」は、19・20日の公演前に、3人の出演者がそれぞれ講師になって【こどもの城】館内3か所で開かれます。定員制で参加費は無料(こどもの城の入館券が必要)。対象は、林英哲ワークショップが小・中・高校生などで音楽を指導している人・教育のなかで日本の音楽を取り入れようとしている人、大倉正之助・木津茂理ワークショップが小学生～一般。

「ワークショップ」は、19・20日の公演前に、3人の出演者がそれぞれ講師になって【こどもの城】館内3か所で開かれます。定員制で参加費は無料(こどもの城の入館券が必要)。対象は、林英哲ワークショップが小・中・高校生などで音楽を指導している人・教育のなかで日本の音楽を取り入れようとしている人、大倉正之助・木津茂理ワークショップが小学生～一般。

「デモンストレーションライブ」は8月19・20日に青山円形劇場で行われます。出演は、林英哲(創作太鼓)、大倉正之助(能楽・太鼓＝おおつづみ)、木津茂理(民謡・太鼓)の3人。演奏家として世界中で活躍するだけでなく、各地で子どもを対象としたワークショップなども行い、日本音楽のすばらしさを多くの人に知ってもらおうと活動しています。

「ワークショップ」は、19・20日の公演前に、3人の出演者がそれぞれ講師になって【こどもの城】館内3か所で開かれます。定員制で参加費は無料(こどもの城の入館券が必要)。対象は、林英哲ワークショップが小・中・高校生などで音楽を指導している人・教育のなかで日本の音楽を取り入れようとしている人、大倉正之助・木津茂理ワークショップが小学生～一般。

「ワークショップ」は、19・20日の公演前に、3人の出演者がそれぞれ講師になって【こどもの城】館内3か所で開かれます。定員制で参加費は無料(こどもの城の入館券が必要)。対象は、林英哲ワークショップが小・中・高校生などで音楽を指導している人・教育のなかで日本の音楽を取り入れようとしている人、大倉正之助・木津茂理ワークショップが小学生～一般。



林英哲 PHOTO: 百瀬恒彦

この「ライブ」は、演奏を聞く・聞かせるという通常のコンサートではなく、演奏者と観客・参加者がコミュニケーションを図りながら、日本の太鼓(音楽)のおもしろさや楽しさなどを体験する場。演奏とワークショップ、トークを織りまぜてさまざまな角度から日本の太鼓の魅力を紹介いたします。

☆出演者プロフィール
林英哲 (はやし えいせつ) 和太鼓において、まったく新しい様式をとった音楽的な試みを行い、創作太鼓のバイオニアとして多彩なコンサート活動を国内外で展開。ジャズ、ロック、各国の民族音楽との共演や、ダンス、アート・パフォーマンスとのコラボレーションなどジャンルを超えて世界のアーティストと

交流。日本から発信する新しい音楽としての太鼓の創造に取り組んでいる。
大倉正之助 (おおくら しょうのすけ) 大倉流15世宗家の故・大倉長十郎の長男。室町時代から650年続く能楽舞子(太鼓)のおおつづみ・小鼓の家。8歳で初舞台、17歳で太鼓に転向。至難の技とされる素手打ちにこだわり、人機一体となる太鼓には国内はもとより海外でも高い評価を受けている。

る。伝統的な舞台のほか、能をはじめ各国の民族芸能や音楽を紹介するために独創的なイベントを企画。能楽舞子大倉流太鼓方。
木津茂理 (きつ しげり) 民謡(唄)を父・木津竹嶺、三味線を本條秀太郎、鳴り物を山田鶴貴美に師事。高校時代には、NHKの番組「民謡をあなたに」にレギュラー出演。民謡の伝統スタイルに活動の重点を置き、伝統を重視しながらいろいろな角度から民謡を見つめなおすというコンセプトで、楽器の種類を問わずアーティストと一緒に音楽を見つめることができるメンバーと活動している。



ダンスピエンナーレ TOKYO 2002

9か国から19カンパニーが集い公演

「子どもコンテンポラリーダンス」のワークショップも

8月7～18日 青山劇場・青山円形劇場

体で表現する楽しさ、喜びを体験してもらおうと、ワークショップ「子どもコンテンポラリーダンス」が8月15日(午前10時30分～12時/小学生20人)と16日(午後3時～4時30分/中学生20人)に【こどもの城】で開かれます。8月7～18日に青山劇場・青山円形劇場で開かれる「ダンス・ピエンナーレ TOKYO 2002」のプログラムの一つとして行われるもので、小・中学生に体をを使った表現―ダンスのおもしろさ、創作する楽しさを体験してもらおうワークショップです。講師は北村成美さん。参加費は無料。先着順に参加者を募集しています。

活動を展開する催し。その第1回が8月に東京で開かれる「ダンスピエンナーレ TOKYO 2002」。文化によるにぎわいの場を創造し、世界のダンスの動向や潮流を知り、ネットワークを広げ、ダンスや演劇の文化的土壌を豊かにしようとするさまざまな試みが行われます。青山劇場・青山円形劇場での公演のほか、ダンスフォーラム、ワークショップが行われます。



パットシェバ・アンサンブル PHOTO: Gadi Dagon

8月18日と9月8日に「表情人形」を作って演じる講習会

児童厚生員など児童の健全育成にかかわっている人、それを旨とする学生を対象に、指導者向けの講習会「つくって演じる人形劇2002」が、8月18日と9月8日の2日間にわたって開かれます。講師は、人形劇・木くつ木の鹿島佳子さん。

1日目は、NHK教育テレビ「ハッチ・ポッチ・ステーション」に登場するジャーニーのような「表情人形」を作ります。2日目は、作った人形をつかって、グループごとに簡単な人形劇を演じながら、操演の仕方や演技方を学びます。

受講料は、2日で6,500円(材料費込み。1日のみの場合は3,500円。2日目のみの参加者には人形の材料を提供)。定員は各日とも30人で、講習時間は午前10時～午後4時。7月24日正午から、電話で先着順に受け付けします。お申し込み・お問い合わせは、企画研修部【☎03-3797-5675】まで。

公開講座「みんなで子育て」に80人が参加

親と子の関係に自信ができれば、なにかあったときに帰ってくる「港」になれる

「育つ力」を信じよう～親の子離れ・子の自立」をテーマに、平成14年度第1回の公開講座「みんなで子育て」が、6月12日に開かれ、子育てに関心をもち母親を中心に約80人が集まり、子育て中の親子の距離について考えました。

母親と一心同体で育ち、出産と同時に物理的には離れてしまふけれど、親と子は強く結びついているものです。親と子の関係さえしっかりしていれば、よく育っていく。乳幼児期の親と子の結びつきが大切だと受け止めています。乳幼児期の

「正解」のない「子離れ・自立」について、みんなで考えました。はじめのうちは、子離れや自立のことを考える必要はないのではないのでしょうか。

「正解」のない「子離れ・自立」について、みんなで考えました。はじめのうちは、子離れや自立のことを考える必要はないのではないのでしょうか。

インフォメーション
●青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.or.jp

青山劇場
●少年隊 PLAYZONE2002
▽7月14日～8月5日▽12,000円
(間) 0180-993-700
(テレドーム24時間音声サービス)

●ダンスピエンナーレ TOKYO 2002
(パニョレカの道)
▽Aプロ=8月7日、Bプロ=8月9日、Cプロ=8月11日▽S席=5,000円(当日=

5,500円、A席=4,000円(当日=4,500円)、高校生以下=3,000円(前売りA席のみ)
(間) 03-3797-5678
●サクラ大戦帝國歌劇団・花組 スーパー歌謡ショー「新編 大団」
▽8月15～25日▽S席=10,000円、S席=8,000円、A席=3,500円、ファミリー券(S席のみ・大人1人+小学生以下1人)=12,000円(間) 03-5465-1030
●月猫さゆり音楽会～七夜祭
▽9月30日～10月6日▽S席=10,500円、S席=8,400円
(間) 03-3796-9999
●名倉ジャズダンススタジオ CANT STOP DANCIN' 2002 15周年記念公演
▽10月10～13日▽S席=7,000円、A席=6,000円(間) 03-3404-5288
●TOYOTA Presents 谷村新司 LA STRADA V 青山劇場スペシャル
▽10月26日～11月9日▽グランドフロア=

10,000円、バルコニーシート=8,000円
(間) 03-3498-9999
●鬼太鼓座
▽12月14日▽5,000円
(間) 03-3201-8116

青山円形劇場
●月猫さゆり音楽会2002
▽7月23～25日(応募制・申込終了)
(間) 03-3797-5678
●文学座ファミリーシアター「アラビヤ ナイト」
▽7月29日～8月7日▽一般=5,500円、学生=3,800円、小・中学生2,800円
(間) 0120-481-034
●ダンスピエンナーレ TOKYO 2002 (パニョレカの道)
▽Dプロ=8月12日、Eプロ=8月14日、Fプロ=8月16日、Gプロ=8月18日▽

3,800円(当日=4,000円)、高校生以下=3,000円(前売のみ)
(間) 03-3797-5678
●日本の太鼓 林英哲・大倉正之助・木津茂理
▽8月19・20日▽4,000円(当日=4,500円)、高校生以下2,000円(前売のみ)
(間) 03-3797-5678
●こどもの城×ジューズプロデュース・ファミリー公演「おしいちゃんの夏」
▽8月23～29日▽3,000円
(間) 03-3797-5678
●月影十番唄第七番「愛の嵐」
▽9月18～29日▽4,500円(当日=4,800円)、高校生以下2,000円(前売のみ)
(間) 03-3372-6283
●遊○機械・全自動シアター最終公演「クラブ・オブ・アリス」
▽10月3～24日▽6,300円
(間) 03-5420-4620
●トロピカルヒストリーシアター「エデンの南」
▽10月30日～11月16日▽7,000円
(間) 03-3234-9999